

## 平成27年度 第3回宇都宮市総合教育会議 議事録（概要版）

1 日時 平成28年 3月25日（金） 午後1時15分～午後2時5分  
2 場所 宇都宮市役所13階 教育委員室

3 出席者  
(構成員) 佐藤市長,  
大場教育委員長, 若度教育委員, 伊藤教育委員, 山田教育委員,  
水越教育長  
(関係者) 篠塚教育次長  
(事務局) 梓澤教育企画課長, 増渕総務担当主幹, 神谷学校管理課長,  
浪花学校教育課長, 大島学校健康課長, 大久保生涯学習課長,  
伊藤中央図書館長, 松本文化課長, 湯沢スポーツ振興課長,  
小林教育センター所長, 教育企画課職員

4 傍聴者 0名

### 5 議題

(1) 平成28年度教育委員会基本方針（素案）について

### 6 議事の内容

篠塚教育次長 ただいまから、平成27年度第3回宇都宮市総合教育会議を開会いたします。はじめに、佐藤市長からごあいさつをお願いします。

佐藤市長あいさつ

篠塚教育次長 続きまして、大場教育委員会委員長よりごあいさつをお願いします。

大場委員長あいさつ

篠塚教育次長 それでは議事に入りますが、議事の進行については、市長にお願いしたいと思います。佐藤市長、よろしくをお願いします。

佐藤市長 それでは早速、議事に入ります。  
「議事（1）平成28年度教育委員会基本方針（素案）について」ですが、大場委員長から説明をお願いします。

#### 【大場委員長説明】

・平成28年度教育委員会基本方針（素案）について

佐藤市長 来年度の教育委員会基本方針についてですが、教育委員会が現状や課題を的確に捉え、来年度の教育行政の方向性が明確に示されていると思います。さて、大場委員長から一括でご説明いただきましたが、そのほか、教育委員から教育委員会基本方針にかかる考えや、特に力を入れて取り組みたいものなど、それぞれご意見を伺いたいと思います。

大場委員長 基本方針の中で、「市民の歴史認識を高め郷土の誇りと愛着を育む」とありますが、郷土に対して好奇心を持つということは、人づくりに大きく関わることであると思います。また、宇都宮市は歴史的な文化遺産の宝庫と言ってもいいぐらい素晴らしい街であると思いますが、残念ながら、そういった文化資源が分散してしまっていて、1か所で歴史を辿って感じることができませんし、私たちの目に触れないところで、貴重なものもたくさんあるとも聞いています。宇都宮市の歴史を流れの中で感じることができるよう、日本遺産認定を目指すだけでなく、歴史を1か所で感じることができ

るようにすることも大切なことであると思います。

若度委員

地域の教育力の向上には、色々な場面で行政が関わることが多いと思いますし、市長部局と教育委員会で一体となって取り組む必要があると思います。現在、地域を支えているのは、年配の方が多いですので、老年、壮年、青年とバランスがとれた地域づくりが必要であると思います。特に、地域の若い現役世代の方々が、地域の色々な組織に関与しやすい環境づくりを進めていく必要があると思います。

伊藤委員

中学校の部活動のあり方を考えてみるのが大切だと感じています。中学校の部活動については教育活動の一環であり、また、現場の先生方の考えなどもあるかと思いますが、部活動のある程度地域の方々などに委ねていくという方向性もあるかと思っています。現実的には難しいことがたくさんあることは分かっていますが、多忙感の解消などを踏まえると、そういった方向性が望ましいと思いますし、今すぐには進められなくとも、越えなければならないハードルや体制づくりについて研究していかなければならない時期に来ているのかなと思います。

山田委員

市民への伝達的手段として、連携がキーワードになるかと思っています。教育は多様なものであり、教育委員会だけでアクションを起こしても、なかなか実現できないと思います。教育は、保健や医療、福祉などの分野も関わり、横の連携を強化していく必要があると思います。また、教育にかかる学校、地域、家庭の連携がある程度定着したと見られていますが、実際に、各団体の意思疎通や交流を図ることにに関して一番問題となっているのは、地域団体の高齢化で次の世代が見つからなかったり、若い世代の意識の軽薄化であったり、地域を支援したいという気持ちがあっても、参加できなかったりしていることが現状です。身近なところで自分の役割を認識してもらえようような連携にかかる発信のあり方を含めて、今後考えていく必要があるかと思っています。

水越教育長

今回、教育委員会基本方針を策定するにあたりましては、市長に予算の面から配慮していただいたので、効果的に活用したいと考えています。特にタブレット型端末の導入やかがやきルームの全校配置、トイレの洋式化などありますが、市長は日ごろからまちづくりは人づくりとお話されています通り、こうした教育予算を有効に活用し、人づくりを推進していくことが重要な役割であると感じています。

佐藤市長

本市の教育大綱である「宮っこ未来ビジョン」は、他に例のない本市の誇れるものですが、ビジョンに基づき、子どもから大人まで網羅された素晴らしい方針であると思います。特に、人間力の向上に力を入れています。人づくりに教育は欠かせないですし、教育は学校教育のみならず、家庭教育、地域教育も連携して取り組まなければなりません。ただし、連携することは簡単ではありませんので、教育委員会が牽引役となっただくことで、全体の底上げを図っていただきたいと思っています。最も大切なのは、教育の根幹となる現場であると思いますので、現場の方々の意見を聞きながら、「共に歩む教育委員会」をこれからも大切にしていいただければと思います。

また、教育長からもお話がありましたが、タブレット型パソコンの計画的な導入については、ICT機器は導入が目的ではなく、児童生徒の学力向上や興味関心を引き出すなど、効果的に活用することが重要であると思います。かがやきルームの指導員の全校配置についても、インクルーシブ教育への対応ということで、今後も気を抜かずに対応をしていかなければな

らないと思います。学校のトイレの洋式化については、海外からの交流人口を増やしていくためには、公共施設のトイレは洋式化が必要であると考えています。使いやすさやトイレの美化も含めて、快適な学校生活を送るためには、学校のトイレも洋式に変えていかなければならないと思います。また、大谷石などの日本遺産への登録については、歴史文化基本構想を策定する上では、市民の大きな財産として認識してもらうため、ストーリー構成を持たせていく必要があると考えています。文化や歴史は一朝一夕に、また、お金をかければ作れるものでもないですので、大切にしなければなりません。必ず日本遺産への登録は達成して、大谷の良さをPRするとともに、今後もしっかり守っていく必要があると思います。最後になりますが、伊藤委員からお話がありました部活動については、スーパースポーツゼビオが本社機能を宇都宮市に移転することが決まりました。ゼビオはプロスポーツ選手やアマチュア選手などを多く抱えていますので、引退した選手の活躍の場として、部活動を指導していただくことも考えられるのではないのでしょうか。ただし、そう簡単にはいかないと思いますし、越えなければならない様々なハードルもありますが、一つ考えていく手立てであるとも思います。以上、雑ぱくではありますが、学力と心の教育、健全な体の育成など、人間力を育てていくことが我々の使命であると考えていますので、しっかりと取り組んでいきたいと思っています。

また、別の話ですが、城山西小学校や清原北小学校は小規模特認校として様々な活動をしています。両校の取組を見れば、地域などとの連携はできるものだと考えています。複式学級の危機がなくても、子どもの数が減少していることが気になっている時に、両校のような取組ができれば学校は安心だと思います。複式学級の危機になってから取り組むことには、相当な力が必要ですので、危機に直面した時でなく、いい状態の時に取り組んでいくことが大変重要だと思います。市の行財政改革も、いい状態の時に取り組んだことで、現在うまくできているものだと思います。

佐藤市長

時間となりましたので、意見交換を終了したいと思います。平成28年度教育委員会基本方針につきましては、本日の意見交換の結果を踏まえ、教育委員会で最終的な方針を策定していただきたいと思っていますので、よろしくお願ひいたします。

その他

佐藤市長

本市の教育委員会におきましては、引き続き水越教育長が、新制度によります新教育長として在任され、来年度から水越教育長のもとに新たな体制がスタートいたします。教育委員会の皆さまには、これまでと同様に、本市教育の充実発展のため、また人間力の高い人づくりの推進に向けて、引き続き取り組んでいただきたいと思っています。また、大場委員長におかれましては、委員長としてお力添えをいただきありがとうございました。今後はまた委員として、お力添えをいただきたいと思っていますので、よろしくお願ひいたします。もちろん、私も市長として、教育委員会と連携を図りながら、さらに素晴らしい教育行政が推進できるよう努めますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

篠塚教育次長

以上で、平成27年度第3回宇都宮市総合教育会議を閉会いたします。ありがとうございました。